

令和2年度 学校自己評価表 (計画段階・実行段階)

福岡県立嘉穂高等学校長

印

88

学校経営計画(4月)				評価(3月)	
学校運営方針		校訓「質実剛健」「自主創造」に掲げる精神に基づき、心身ともに逞しく文武両道を実践し、気高さを追求する豊かな人間性と創造性を備えた生徒を育成する。			
昨年度の成果と課題		今年度重点目標		具体的目標	
校訓に掲げる精神を踏まえ、嘉穂高生としての自覚と「気高さ」を身につけた生徒の育成が実現できた。 新たな学びを取り入れた授業改善をさらに充実させることで、生徒の学力向上と生徒主体の第一希望進路の実現を図る。 歴史と伝統を踏まえ、中高一貫教育校としての新たな文化を創造し、地域の期待に応える人材育成を実践する。		新たな学びの推進と生徒の個性や能力を伸長する丁寧な指導により、生徒の進路実現に向けた支援を充実する。		主体的・対話的で深い学びやICTを用いた授業を展開し、生徒の探究心を育てる。 ガイダンス機能を充実させることで、生徒が主体的に明確な進路選択を行い、希望する進路への実現を目指す。	
		指導と評価の一体化により、生徒の意欲を引き出す授業改善を図る。		授業を計画、実施した後の評価を次に生かすことで、指導と評価の一体化を図り、主体的に学習に取り組む生徒を育成する。	
		文武両道の教育活動を推進し、広報することで、地域に根ざし、地域に信頼される学校文化の創造を図る。		文武両道の精神を重んじ、学習や部活動、学校行事での生徒の活躍を地域に広報し、地域の本校への期待と信頼を確かなものとする。	
		中高一貫キャリアプログラム「嘉穂Dream Compass」を軸として、地域と世界に目を向けたグローバル人材の育成を推進する。		地元の自治体、企業や大学等と連携を図り、広い視野に立って考える力やコミュニケーション能力を養い、将来国内外で活躍できる人材を育成する。	
評価項目	具体的目標	具体的方針	評価(3月)		次年度の主な課題
新たな学びの推進と生徒の進路実現に向けた支援	生徒の探究心の育成	「知る」「深める」「発する」スキルの育成	学校内外を問わず様々な体験活動への参加や行政や企業との連携した探究活動をおとし、生徒の複眼的思考を育て、ICTを活用した情報編集のスキルを身に付けさせる。		
		変化する教育課題に対応できる研修の充実	中高一貫教育や高大接続、入試改革など喫緊の教育課題をテーマとする職員研修を年間4回以上実施する。		
	生徒の進路意識の高揚	社会に貢献する自己実現を図る指導の工夫	進路講演会や進路ガイダンスを通して、これからの社会での自己の生き方あり方を考えさせる。		
			課外授業、進路別講座や模擬試験の適切な企画・運営や、自学支援プログラムの活用を通して、生徒の第一希望進路実現に向けて確かな学力を身につけさせる。 最新の教育動向を踏まえた適切な進路情報の提供を行い、生徒と保護者の進路意識を高める。		
生徒支援の充実	生徒支援の充実	生徒の心の健康と自己管理の支援	スクールカウンセラーによるカウンセリングを充実させ、個人面談や保護者との連携を密に行うことで生徒の心の健康をサポートする。 面談により生徒個々への理解を深め、教員との信頼関係を築き、問題や困り感を抱える生徒へのサポートを迅速に行う。		
		特別な教育的支援及び配慮を要する生徒に対して、指導に当たる教員が特別支援コーディネーターや養護教諭、スクールカウンセラーと連携しながら、あらゆる教育活動場面で計画的に合理的配慮を行う。			
	自殺・いじめ防止	自他の人権や生命を尊重する生徒の育成	規範意識育成講演会等での啓発をおとし、クラスを中心としたより良い集団づくりを意識させると共に、毎月実施するいじめアンケートにより、人間関係づくりに悩む生徒や不登校傾向にある生徒への迅速な対応を行う。		
			職員研修により職員の人権感覚を高め、年4回の人権教育授業を行い、教育活動全般において自他の人権を尊重し、配慮できる意識や態度を醸成する。		
指導と評価の一体化	生徒の学習意欲喚起・授業改善	生徒の学習活動を支援するフィードバックの充実	担任による個別の学習ガイダンスを充実させると共に、生徒の学習状況を保護者と情報共有することでフィードバックによる生徒への学習支援を充実させる。		
		授業研究による指導内容と評価の一体化の推進	授業におけるめあての重点化、明確化や観点別評価による学習成果や課題の把握により、授業改善へ向けたPDCAサイクルを確立させる。		
			ICT機器を活用した授業の推進を一層進めると共に、遠隔授業を含めた効果的な活用方法について調査・研究を行う。		

文武両道の教育活動の情報発信	文の育成	自ら学ぶ意欲を持つ生徒の育成	予習、授業、復習の学習サイクルを定着させ、主体的に学ぼうとする姿勢を涵養する。			
	武の育成	嘉穂高生としての自覚と誇りを持った生徒の育成	儀式や集会において規律や礼節を重んじ、気高さや品格に満ちた態度を養うとともに、生徒会を中心に潤陵祭・大運動会等の学校行事の企画・運営を行うことで自治意識を養う。			
		たくましさと自立心を身につけた生徒の育成	部活動の更なる活性化を図り、「文武両道」の実践と心身の健全な育成を推進する。			
	学校広報	PTAや地域と連携した教育活動の活発化	PTAの各委員会活動や学校評議委員会、学校関係者評価委員会等を通して、地域や保護者の声を学校教育に反映させる。			
		積極的な広報活動	パンフレットやリーフレット等をとおして、学校の教育活動を広く中学校・学習塾・地域に広報すると共に、HPにより生徒の活躍や学習成果を随時発信する。			
嘉穂 DreamCompassの充実	科学・情報プログラム・グローバルプログラムの充実	科学技術系人材の育成	地域の科学・情報技術産業との連携や研修、大学の講義や実習等「本物に触れる体験」を通して、生徒の興味関心を広げ、探究する姿勢を養う。			
		グローバルマインドの育成	海外研修や異文化交流等をとおして、いかに地域や社会で貢献できるかを意識した新しい課題解決策を創造する力を育成する。			